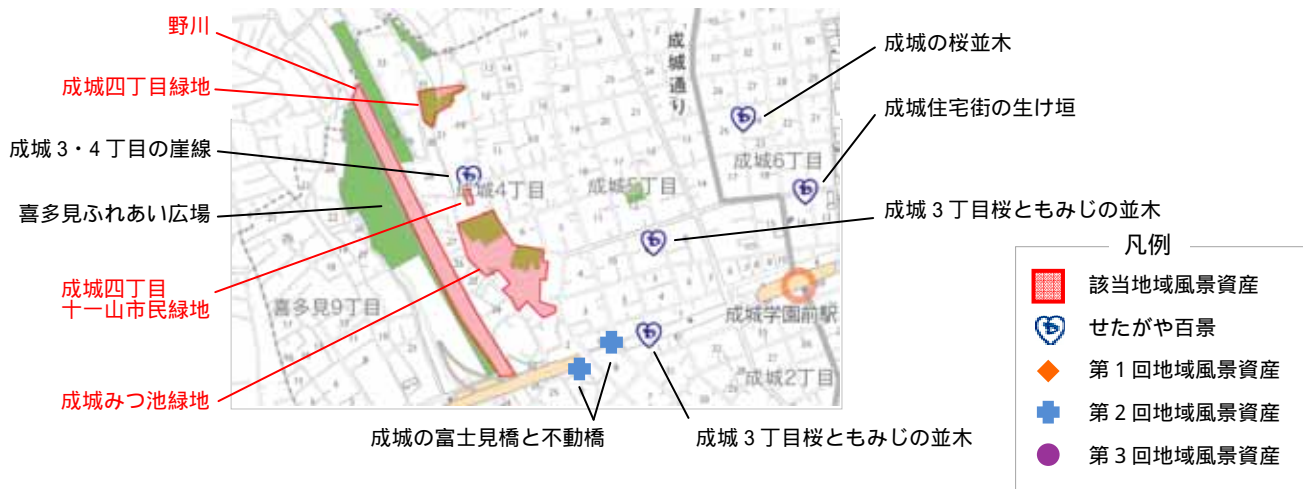


地域風景資産の名称：

喜多見ふれあい広場から見た「野川と国分寺崖線の纏まった緑」

住所： 世田谷区成城四丁目 31番4号（成城四丁目緑地） 四丁目 20番（成城四丁目十一山市民緑地）
四丁目 20番8号（成城みつ池緑地）

位置図：



地域風景資産の特徴：

小田急線の車両基地でもある「喜多見ふれあい広場」に立つと、足下を流れる野川のすぐ向こうに国分寺崖線のパノラマが広がる。野鳥が羽根を休め、広場や川辺で人が集う、地域の憩いの場である。



地域風景資産の背景等：

世田谷の貴重な緑の軸である国分寺崖線の中で、野川沿いと喜多見ふれあい広場から見える緑の敷地を特定している。視点場としている「喜多見ふれあい広場」は、小田急線の電車車庫の上にある人工地盤の公園であり、多くの人々が連携して完成した広場である。崖線には様々な自然保全グループがあるが、これらの団体が連携できる場をつくり、崖線のまとまった緑を次世代に残す活動を考え、実践につなげるという取り組みには、新しい展開の風景づくりが期待される。

備考：

- < 成城四丁目緑地 > 一部未開園
- < 成城四丁目十一山市民緑地 > 夜間閉鎖
- < 成城みつ池緑地 > 一部未開園、夜間閉鎖